

職業実践専門課程として認定する専修学校の専門課程の推薦について

文 部 科 学 大 臣 殿

2016年10月31日

下記の専修学校の専門課程を職業実践専門課程として認定する課程として推薦します。

記

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
専門学校 九州スクール オブビジネス	1983年3月29日	山本 重春	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-8-24 (電話) 092-474-9231				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人九州安達学園	1983年3月29日	安達 暁子	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-8-24 (電話) 092-474-9231				
目的	ファッション業界が必要としている能力(コミュニケーション、プレゼンテーション、マネージメント、ファッション知識、サービス技能)を学び、販売職だけではなく、マーチャンダイザー、ブランディングプランナーを意識した人材の育成を目指している。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	ビジネス専門課程	ファッションビジネス学科	平成27年文部科学省告示 第13号				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1920	640	3840			
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
80人	21人	4人	8人	12人			
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> ■1学期：4月1日～9月30日 ■2学期：10月3日～3月31日 	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 各学期に行う試験、演習成果、出席状況等を総合的に勘案して評価を行う。 				
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■学年始：4月11日 ■夏季：7月19日～8月26日 ■冬季：12月26日～1月6日 ■学年末：2月27日～4月1日 	卒業・進級条件	卒業規程による履修時間数を履修すること				
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制：有 ■長期欠席者への指導等の対応 長期欠席者は保護者面談を設ける。 	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類 吹奏楽、バスケットボールなど ■サークル活動：有 				
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先、業界等 アパレルメーカー テキスタイル企業 服飾雑貨 OEM アクセサリー小物販売 ■就職率^{*1}：100% ■卒業者に占める就職者の割合^{*2}：100% ■その他 	主な資格・検定等	<ul style="list-style-type: none"> ●ファッションビジネス能力検定2～3級 ●ファッション販売能力検定2～3級 ●パーソナルコンサルタント2～3級 (日本カラーミーアシーズン) ●Word文書処理技能認定2～3級 ●Excel表計算処理技能認定2～3級 ●サービス接客検定2～3級 ●ビジネス文書検定1～2級 ●ビジネス能力検定2～3級 				
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> ■中途退学者 0名 平成27年4月1日時点において 在学者 18名 平成28年3月31日時点において 在学者 18名 ■中途退学の主な理由 退学者なし。 ■中退防止のための取組 日々の出席のチェックによる学生の状態を把握している。 カウンセラーを配置し、学生の心のケアを実施している。 	中退率	0% (平成27年4月1日入学者を含む) (平成28年3月31日卒業者を含む)				
ホームページ	http://www.ksb.ac.jp						

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

教育課程の編成については、企業等と定期的に会議等を通じて意見交換を行ない、編成・改善を行なう協議内容は、授業教科目の名称や授業内容・方法の改善・工夫をはじめ、業界の動向をふまえ、働く為に必要とされる科目設定・授業内容等とし、授業方法は演習型授業（知識・技術）を主体に行なう。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

学校教育法第133条、並びに学校教育法施行規則189条、及び学校法人九州安達学園理事会の決議に基づき、教育課程編成委員会を置く。この委員会は、教育の質の保証及び改善をするため、学科の教育活動の状況に関する評価を行い、教育活動の更なる躍進の為活動をするものである。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2016年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
木下 亜沙希	NPO法人日本サービスマナー協会 福岡支部	平成27年3月15日～ 平成29年3月14日（2	①
今泉 勇太	株式会社 ビーザワン	平成27年4月1日～ 平成29年3月31日（2年）	③
山本 重春	九州スクールオブビジネス 学校長	2年	
渡邊 恵未	九州スクールオブビジネス 学務マネージャー	2年	
檜垣 絵美	九州スクールオブビジネス 学科長	2年	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間2回開催（1回目前期8月 2回目後期3月）

(開催日時)

平成27年度 第1回 平成27年8月26日 16:00～17:00

平成27年度 第2回 平成28年3月16日 16:00～17:00

平成28年度 第1回 平成28年10月1日 13:00～14:00

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ①商品の情報と店舗の陳列方法をもっと学んで欲しい、商品の配置などの研究の強化の指摘があった。校外店舗見学の頻度を月1回から2回に増やし見るポイントを指導した。
- ②クレーム対応を十分に行う事が必要だと指摘があり、授業でケーススタディーを行った。
- ③お客がいない時の行動が主体性を持っていないので、遊んでいると指摘があった。1日の店舗の業務を事前に理解させ、自ら考え行動させる様に授業で学ばせる事になった。

(別途、以下の資料を提出)

- * 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程
- * 教育課程編成委員会等の規則
- * 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1
- * 学校又は法人の組織図
- * 教育課程編成委員会等の開催記録

<p>2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること</p> <p>(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針</p> <p>授業方法は職業実践的な演習型授業を学校の授業担当者と連携して行なう。</p> <p>特に、産業界や職業人が求められる知識・技能や最新の実務を反映した教育を行なうため、企業が学習活動に関わり、相互理解が深められる機会（企業実習、企業参加の学内実習活動等）を設定する</p>														
<p>(2) 実習・演習等における企業等との連携内容</p> <p>1年次10月連携企業の店舗において、販売に向けての店作り、販売スキルの指導と販売実施を連携。</p> <p>「ファッション販売」の授業において販売スキル、店舗レイアウト、商品陳列、ディスプレイのチェックを行う。学生の実店舗での準備の動き、販売員としてのスキルを総合的に評価する。</p>														
<p>(3) 具体的な連携の例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>科目概要</th> <th>連携企業等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ファッション販売</td> <td>実店舗での販売研修（イオンモール香椎浜）</td> <td>株式会社 ビーザワン</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			科目名	科目概要	連携企業等	ファッション販売	実店舗での販売研修（イオンモール香椎浜）	株式会社 ビーザワン						
科目名	科目概要	連携企業等												
ファッション販売	実店舗での販売研修（イオンモール香椎浜）	株式会社 ビーザワン												
<p>* 企業等との連携に関する協定書等や講師契約書(本人の同意書及び企業等の承諾書)等</p>														
<p>3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」</p> <p>(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針</p> <p>教育の質を客観的に保証するために、経済・産業界・観光業界の動向・人材需要に即し、最新の実務の知識・経験に基づく実践的な知識・技術を教授すべく適切に教員に対する研修等を、教職員研修規定により行なう。</p>														
<p>(2) 研修等の実績</p> <p>①専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>平成27年4月2日 パーソナルカラーセミナー 日本カラーミーアシーズン</p> <p>平成28年2月7日 テキスタイル研修「久留米紺」 サラコンパスオーナー 近藤 和浩</p> <p>②指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>平成27年11月18日 薬物危険ドラッグ防止講習会</p> <p>平成27年11月25日 人権同和研修会「多文化共生社会の実現に向けて」 福岡県専修学校各種学校協会主催</p> <p>平成27年11月29日 脳科学による対人交流分析セミナー</p> <p>平成28年2月17日 人権同和研修会「バワハラ、セクハラ防止対策」 福岡県専修学校各種学校協会主催</p>														
<p>(3) 研修等の計画</p> <p>①専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>平成28年12月9日 クレーム対応研修 日本サービスマナー協会</p> <p>平成29年2月 伝統工芸と地域発展「久留米紺スーツで世界に挑戦！」 西原 健太「糸-Itto-」</p> <p>②指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>平成28年6月28日 第1回経営者研修会 福岡県専修学校各種学校協会主催</p> <p>平成28年7月24日 脳科学によるコミュニケーション力向上① セミナー オフィスナチュラルズ</p> <p>平成28年9月21日 個性心理学セミナー ISD個性心理学協会</p> <p>平成28年10月3日 東北電子専門学校留学生の先進的事例の研修会 福岡県専修学校各種学校協会主催</p> <p>平成28年11月 第一回人権・同和研修会 福岡県専修学校各種学校協会主催</p> <p>平成29年 2月 第二回人権・同和研修会 福岡県専修学校各種学校協会主催</p> <p>平成29年3月 脳科学によるコミュニケーション力向上② 上セミナー オフィスナチュラルズ</p>														
<p>(別途、以下の資料を提出)</p> <p>* 研修等に係る諸規程</p> <p>* 研修等の実績(推薦年度の前年度における実績)</p> <p>* 研修等の計画(推薦年度における計画)</p>														

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己評価の評価結果について、卒業生、企業等の関係団体、地域住民などの専門学校と密接に関係する者と理解促進や連携協力により学校運営の改善を図る。限られた時間を有効に活用する為に、重点課題などを取り上げ集中した審議を行っていく。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の教育理念・目標の設定、学校の特色、将来構想
(2) 学校運営	運営方針・事業計画の設定、運営方式・意思決定の効率性、人事・賃金の制度 情報システムによる業務の効率化
(3) 教育活動	教育目標 育成人材像の方向性、カリキュラムの適正さ、キャリア教育の視点での教育方法か、授業の評価体制、資格指導体制
(4) 学修成果	就職率・資格取得の向上、退学率の低減
(5) 学生支援	就職支援、学生寮・生活環境・健康面の支援、保護者との連携、卒業生支援
(6) 教育環境	施設・設備の整備状況、防災に対する体制
(7) 学生の受入れ募集	募集活動の適正さ、入学選考の適正かつ公平さ、奨学金制度
(8) 財務	財務基盤の安定さ、予算・収支計画、会計監査、情報公開の整備
(9) 法令等の遵守	法令・設置基準等の遵守、個人情報の保護、自己点検・自己評価の実施問題点、結果公開
(10) 社会貢献・地域貢献	教育資源、施設を利用した社会貢献、学生のボランティア活動奨励
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

●教育活動において AO入学制度で目標が決まり熱心に学ぶ者と何もなくなる者が出てしまうと指摘があり、早期に個別面談ができるチャンスと捉え教員と一緒に頑張ってもらえる様、指導を行う事になった。

●卒業生の支援体制に関して卒業生の活躍を把握できる方策をと提案があり、就職課が卒業生ネットワークの構築を行っている。

●地震や火災などの防災への対応をしっかりと行ってほしいと意見があり、全学生の避難訓練を2回実施した

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2016年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
平田 章裕	福岡県洋菓子協会 (常務理事)	2年	業界・団体
手塚 登	税理士法人 アーク・パートナーズ	2年	会計士
荻田 英二	(株) 荻田商業建築デザイン事務所	2年	卒業生
田中 誠二	ホテルセントラーザ博多	2年	卒業生
福島 眞祐	福岡市博多区博多駅前3丁目2区 自	2年	地域自治体
満生 憲親	希望が丘高等学校 進路指導部主事	2年	高校進路
山内 真介	株式会社Too・福岡支店業務部マネージャー	2年	企業

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページにより平成28年10月より開示

URL: <http://www.kyukan.ac.jp>

(別途、以下の資料を提出)

- * 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)
※別紙様式3-2
- * 自己評価結果公開資料
- * 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、企業等の学校関係者に対し、当該専門学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供し説明する等の理解を得る為の取組みを行ない、業界、企業、また社会に認められる人材の育成を目指す事を基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の教育理念・目標の設定、学校の特色、将来構想
(2) 各学科等の教育	教育目標・育成人材像、カリキュラム、授業評価体制、資格指導体制
(3) 教職員	別表組織図による
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育の流れ・指導方法、実践教育実施内容
(5) 様々な教育活動・教育環境	イベント、ボランティア、コンペティション等実施活動及び実習施設
(6) 学生の生活支援	寮・アパート情報、健康診断実施状況
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、各種奨学金等
(8) 学校の財務	請求があれば提示
(9) 学校評価	評価項目、評価集計
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページより URL: <http://www.kyukan.ac.jp>

(別途、以下の資料を提出)

* 情報提供している資料

事務担当責任者	フリガナ	タナカ ミノル	所属部署	学務部
	氏名	田中 稔	役職名	事務長
	所在地	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-8-24		
	TEL	092-474-9232	FAX	092-474-9360
	E-mail	m.tanaka@eggnet.ac.jp		

(備考)

・用紙の大きさは、日本工業規格A4とする(別紙様式1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、4、5、6、7についても同じ)

(別紙様式 1-2)

授業科目等の概要

(ビジネス専門課程 ファッションビジネス学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実	校内	校外	専任	兼任	
○			社会性基礎スキル	マナー、社会のルールから接客スキルを身につける。	1通 2通	128	8	○			○				
○			ビジネス能力	一般常識を学ぶ。	1通	64	4	○			○				
○			パーソナルカラー	自分に似合う色を把握し、スタイリングを学ぶ。カラーミアシーズンパーソナルカラー3級検定対策	1通 2通	128	8	○		△	○			○	
○			ファッション販売	アパレル業界の販売に関し企業とのコラボショップにて実践販売を行う	1通	128	8	○			○	△	○		○
○			ファッション基礎	アパレル業界に関する基礎知識	1通	128	8	○			○		○		
○			ファッションコーディネート	ファッションコーディネートの基礎	1通	128	8	△	○		○			○	
○			アパレル素材	衣服に用いられるマテリアル(素材)を全般的に学ぶ。	1前	32	2	○			○		○		
○			WORD	マイクロソフト社のアプリソフト演習	1前	32	2	○			○		○		
○			EXCEL	マイクロソフト社のアプリソフト演習	1後	32	2	○			○		○		
合計				科目	単位時間(単位)		

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(ビジネス専門課程 ファッションビジネス学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実	校内	校外	専任	兼任	
○			キャリアガイダンス	就職に対する考え方、自分のキャリアプランの作成	1前	64	4	○	△		○		○		
○			マーチャンダイジング	消費者のニーズに合う商品をどう提供するかを学ぶ	1後2通	192	12		○		○		○		
○			デジタルワーク	写真加工、イラストレーターによる広告物制作の演習	1後2通	96	6		○		○			○	
○			VMD	視覚的商品化計画(売り易く、買い易い陳列計画、ビジュアルマーチャンダイジング)	2通	64	4		○		○			○	
○			ファッションデザイン画	ファッションのベースとなるデザイン画の履修	1通2通	128	8		○		○			○	
		○	ビジネスコミュニケーション	接客に関する話し方、ビジネスマナー、ルールの修得	2通	64	4		○		○			○	
		○	リクルートナビゲーション	就職活動の具体的な進め方	1後2通	96	6		○		○		○		
		○	店舗経営学	アパレルショップを経営していくための知識の履修	1通	64	4	○			○			○	
		○	服飾史	ファッションスタイルの歴史	1通	64	4	○			○			○	
合計				科目	単位時間(単位)		

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(ビジネス専門課程 ファッションビジネス学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実	校内	校外	専任	兼任	
		<input type="radio"/>	計数管理	ショップの計数に関する知識の習得	1後 2前	64	4	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	ストアマネジメント	ショップをマネジメントする要素(ヒト、モノ、カネ)履修	2後	64	4	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="triangle"/>		<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	パーソナルコンサルティング	自己分析を通してリーダーシップ力を高める訓練	2通	128	8	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	ファッションビジネス	ファッションビジネスの基礎から実践までを学ぶ	1後 2通	96	6	<input type="radio"/>	<input type="triangle"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
		<input type="radio"/>	ラッピング	商品を包む包装技術の習得	1後	32	2	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	ショップ会計基礎	ショップ会計を基礎から学ぶ	1後	32	2	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	Office演習	EXCEL表計算ソフトの習得	1後	32	2	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	英会話	基礎会話、接客会話	2通	64	4	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	スタイリング	コーディネート応用の応用をロールプレイングにより実践的に学ぶ	2通	64	4	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1 学年の学期区分	期
	1 学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(ビジネス専門課程 ファッションビジネス学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実	校内	校外	専任	兼任	
		○	インターネットショップ運営	インターネット店舗を抽出して運営シュミレーション研究	2通	64	4		○		○			○	
		○	販売実践	サンプル店舗を抽出して販売シュミレーション研究	2通	256	16		○		○			○	
		○	セールスプロモーション	販売促進計画の基礎から実践までを学ぶ	2通	64	4		○		○			○	
		○	※ワーキング・スタディ	モデルショップをゼロから立ち上げる企画立案手法の修得	1通 2通	384	24		○		○		○		
		○	ゼミナール A	卒業制作演習	2後	16	1		○		○			○	
		○	ゼミナール B	卒業制作演習	2後	16	1		○		○		○		
		○	ゼミナール C	卒業制作演習	2後	16	1		○		○			○	
		○	ゼミナール D	卒業制作演習	2後	16	1		○		○			○	
		○	企業研修 A	インターンシップ、セミナー、研修会	1後 2通	720	45		○	△	○			○	
合計			科目		単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(ビジネス専門課程 ファッションビジネス学科) 平成28年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実	校内	校外	専任	兼任		
	○		企業研修 B	インターンシップ、セミナー、研修会	1後 2通	720	45		○	△		○		○		
合計															37 科目	4480 単位時間(280 単位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件として、必修科目より1216授業時数を履修、選択必修および選択科目より704授業時数(合計1920授業時数)を履修すること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。